

星とほたる

詩：村瀬 保子

曲：熊谷 美紀

♩ = 64

poco rit.

pp

con ped.

1 *a tempo* *poco rit.* *a tempo* 2

6 *p*

しずかな よるの かわのほとり

1 *a tempo* *poco rit.* *a tempo* 2

6 *ppp* 3 *mp*

10 *mp*

くさむらに じっとしていた

10 *pp* *p*

13 *mf* *mf*

ほたるが きゆうに

17 *mp* *rit.*

たかくまいあがった だれかによぼれたように

20 *rubato* *mp*

なつかしい

23 *poco accel.*

ひとのすがたを ほたるのむれのなかに みつけたほしがー

26 *mf* 3 5:4

きっとよんだのです

mf

8va bassa

28 *poco rit.* 4 ♩ = 64

poco rit. 4 ♩ = 64 *dolce*

mp dim. pp mp

32 *mf* 3 3 3 3 *cresc.*

ずーっとあいたかったひと - ずーっとあいたかった

mf cresc.

35 3 3 3 3 3 3 *accel.*

ひと - ほたるは 早く その むねにとまりたくて

f accel.

51 *rit.* *p*

か ぼ そ い ひ か り の い と を ひ き な が

55 *rit.* *ppp*

ら

♩ = 58

pp *rit.*

u.c.

星とほたる

村瀬 保子

しずかな夜の川のほとり

草むらに

じっとしていたほたるが

急に 高く 舞い上がった

だれかに呼ばれたように

なつかしい人の姿を

ほたるの群れの中に見つけた星が

きっと 呼んだのです

ずっと会いたかったひと

ほたるは

速くその胸にとまりたくて

迷いもみせず

深い虚空そらにのぼってゆく

とぎれとぎれの

かほそい光の糸を

引きながら